

平成 25 年度真野小学校  
学校図書館支援活動報告

真野小学校担当 遠藤 因里

## 平成25年度真野小学校図書館支援事業報告

担当 遠藤 因里

派遣日 毎週火曜日・水曜日の週に2回

図書担当教員名 村越 美紀先生

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
0	10	4	10	9	10	43

### 学校の状況

真野小学校は鹿島小学校の教室の一部を借りて利用しているため、真野小学校独自の図書室はなかった。蔵書のほとんどは大勢の方から支援で頂いた寄贈本だった。

それらの本は学級文庫として活用されていた。

学級文庫では様々な本(大人向けの物語やウルトラマンの図鑑など)も学級文庫の本棚に混ざっていた。

図鑑類は、職員室前の本棚に別置してあった。

### 学校からの要望

- ①次年度からの鹿島小学校との統合に向けて本の扱いをどうしたらスムーズに行えるか
- ②教科書に関連した本の読み聞かせや紹介等を行ってほしい。

### 本年度行った活動について

#### 「本の整理」

学級文庫の蔵書の把握を図書台帳と照らし合わせながら確認を行った。

各学年にあったものに学級文庫の本の入れ替えを行う。学年に合わない本は学校と相談のうえ職員室へ移動した。

職員室前の図鑑も背ラベルを張り NDC(日本十進分類法)順に並びかえを行い配架した。

このようなことを行った結果、本が探しやすくなったと先生から言って頂いた。

### 「読み聞かせ」

万葉ふれあいセンターにて読み聞かせ(4/26の遠足時)

対象学年

2～3年生 児童14名と教員4名 4～6年生 児童29名 教員5名

読み聞かせの内容は遠足や春にちなんだものを選び、2回に分けて30分ぐらいずつ読み聞かせを行った。

読み聞かせ終了後、鹿島図書館の館内案内を行った。

### 「図書館見学」

- 中央図書館見学対応(11/13)

対象学年

2年生 児童10名 担当教諭 1名

館内案内、子ども図書館内で自由に閲覧おはなしの蔵で読み聞かせを行った。

### 「本の貸し出し」

- 次年度からの統合へ向けて、真野小と鹿島小との合同で2学期からの委員会活動(図書室利用)を行いたいとの要望を受ける。

↓

両校の図書担当の先生と相談した結果、貸し出しや図書室利用についてのオリエンテーションを行ってから、真野小の児童も2学期から鹿島小の図書室を利用することとなった。

学校からの要望①の対応も含む。

- 貸し出し準備として台本ファイルの準備や児童用貸し出しバーコードの作成を行った。

- 貸し出しが始まった当初は物珍しさもあって貸し出し数もそれなりにあったが、3学期になり、学校全体が2月末の閉校式へ向けてあわただしくなり、次第に子どもたちも閉校式の練習等で図書室へ来る機会が減っていった。

### 「中央図書館からの資料の搬入」

先生からの依頼を受け中央図書館から調べ学習等で必要な資料の搬入を合計6回行った。

### 「寄贈本の受け入れ」

杉並区をはじめとして、理想教育財団など今年度も多くの本の寄贈を頂いたので、寄贈本の受け入れ作業を随時行った。

### 「その他に行ったこと」

2年生教室に学級文庫として、「365日の昔話」という本が3冊あったそこで、本に親しんでもらうため、1冊を職員室前の棚のうえに置いて一日ごとの紹介も含め展示した。(図1)

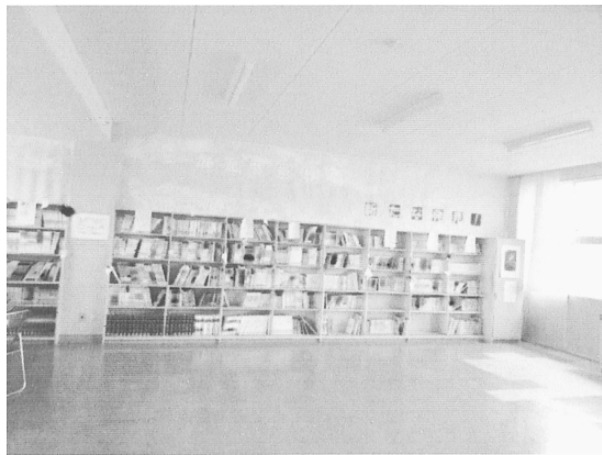


(図1)

校長先生と教頭先生が真野小の本校舎へ備品を取りに行くというので真野本校舎へ同行。震災から、2年半ぐらい経過した本は日焼けがひどい本が多かったが、授業に利用できそうな本を選んで運び出しを行う。(30~40冊)  
その後、除菌シートできれいに拭いて学級文庫へ配架した。



真野小、本校舎 学級文庫の様子



真野小、本校舎図書室の様子

(前年度に職員作業で除籍をしたのですっきりしているとのこと)

- 2学期から図書室利用が決まっていたが、鹿島小で一学期末に各クラスから戻ってきた本があまりにも多かった為、真野小の派遣日にはあったが少しでも早く貸し出しができるよう鹿島小図書室で学級文庫の登録や整備、除籍を行った。



教室から戻ってきた学級文庫(鹿島小)

H25年度、貸出し冊数

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月	8	4	15	10	8	45
10月	0	11	21	18	4	54
11月	0	5	12	14	0	31
12月	18	8	20	18	20	84
1月	0	4	0	0	0	4
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	26	32	68	60	32	218

- 9月から貸し出しが始まったので貸し出し数は9月～3月までの数となっている。
- 12月は冬休みの貸し出し数。1人、2冊までの貸し出しを行った。

## 1年間を振り返って

真野小は鹿島小の一部を借りて授業を行っていたので図書室がなかった。

図書室がない中でどういった学校図書館支援活動ができるか最初は分からなかったが、中央図書館の職員や学校図書館支援員からのアドバイスを頂き、なんとか一年を終えることができた。「どうしたら、子どもに本を手にとってもらえるか？」を常に考えながら支援活動を行ってきた。

しかし私自身の学校図書館支援のPR不足、また図書館員としてのスキル不足が原因で子どもたちに本の楽しさを伝えきれなかったことが読み聞かせや調べ学習の依頼が少ないこと、貸出し冊数が思うように伸びない結果を招いたと思う。これらを次年度の反省点とし、子どもたちにとって学校図書館が身近に感じられるように読書環境を整えていきたい。